



成隣だより

平成29年9月29日

第6号

昭島市立成隣小学校

校長 加賀田 真理

「寛容」を実現するための「たくましさ」

校長 加賀田 真理

9月16日（土）から18日（月）の3日間限定で、「注文をまちがえる料理店」という不思議な名前のお店が開店されたという記事が新聞に載っていました。（6月にも実施）

このお店は、首都圏の介護施設から応募してきた認知症の方々が店員として働いており、接客を行うお店なのだそうです。（調理はプロの料理人が、会計はボランティアスタッフが行う。）お客さんはそのことを知っていて、時々起こる間違いも楽しみながら食事をしていくというイベントだったそうです。その根底には「ハンバーグがギョーザになったって、おいしければ別にいいじゃない。」「たいして困らない間違いを指摘しても、お互いに心が窮屈になるだけではないか。」という考えがあるのだそうです。

このお店のルールは4つ。

- ①間違いを笑顔で許せちゃう雰囲気づくり
- ②認知症の方のやりがいがあるイベントに
- ③わざと間違いを誘導する仕掛けはしない
- ④食中毒やアレルギーがある客には万全対応

「間違えたっていいじゃない。」という寛容の精神を実現するためには、ただニコニコするだけではなく、それを支えることができる心と体の強さが必要となることでしょう。寛容には、忍耐という側面も確実にあると思います。積極的に動く「動的な強さ」よりも、忍耐という「静的な強さ」の方がより心の強さ、たくましさが必要となるのではないのでしょうか。でも、みんなが少しずつたくましさを身に付け、寛容な気持ちが広がっていけば、みんなにとって気持ちのいい世の中になるのではと、私もこの記事を読んで改めて思いました。

10月6日（金）から、いよいよ本校の特別支援教室のプレ実施を開始いたします。このお店と学校とでは条件や環境は違いますが、さきほどのルールを学校にも応用すると「①寛容の気持ちをもつ②自己肯定感を育成③いじわるはしない④安全・安心に妥協はしない」と置き換えられるかもしれません。特にこのお店が目指す「間違いを笑顔で許せちゃう雰囲気づくり」を基盤とした人と人との関係づくりは、ぜひ本校でも実現していきたいと思います。保護者・地域の皆様にも、ご協力をお願いいたします。

本校は、これまでお伝えしてきたように「アクティブライフ研究実践校（都内小学校20校が研究指定）」として平成28年度から3年間の研究を行っております。

生涯にわたって心身ともにいきいきと生き抜く心と体の強さを育んでいきたいと願い、日々の実践に取り組んでいます。成隣小で目指すのは、単なる体力の向上や、だれかを押しのけるための強さではなく、苦しい時にひとりでも耐え抜くことができる心と体の強さや、人を支えることができるたくましさです。より高いものを目指すのは、ひとりで立ち、だれかのために働ける強さを身に付けるためです。これからも「寛容」を実現できる「たくましさ」を子供たちに育むことを目指して、研究や実践を進めてまいります。

明日は、いよいよ運動会です。これまでコツコツと積み上げてきた練習の成果や、アクティブライフ研究実践校として培ってきた、成隣小の子供たちらしい元気いっぱいの姿をご覧いただければ幸いです。ぜひ大勢の保護者・地域の皆様方にご来校いただき、子供たちへの励ましをお願いいたします。

また、先月号でもお知らせいたしましたが、子供たちの活躍を都にも認めていただき、10月2日（月）の東京都教育実践発表会で本校の取り組みを発表することになりました。ほぼ同じ内容で、10月23日（月）には、本校で中間報告会を実施いたします。どちらも保護者・地域の方々も参加可能です。もしも、ご都合がつくようでしたら、こちらにもぜひいらしてください。